

内閣総理大臣杯
第49回全日本空手道選手権大会(団体戦)
大会実施要項
＜公益財団法人 全日本空手道連盟＞



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

コロナ感染症対策のため、実施要項が変更になる場合は随時ご連絡いたします

1. **名 称** 内閣総理大臣杯 第49回全日本空手道選手権大会
2. **主 催** 公益財団法人 全日本空手道連盟
3. **後 援** スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本武道館、日本武道協議会、NHK、読売新聞社、報知新聞社、(公財)ブルー・アット・グリーンランド財団、(公財)笹川スポーツ財団、空手道マガジン月刊 JkFan
4. **日時・場所**
男子及び女子組手団体戦
日 時 令和3年12月11日(土) 10時00分～17時30分
場 所 東京武道館 (東京都足立区綾瀬3-20-1)
5. **競技種目**
男子・女子組手競技団体戦
都道府県ごとに編成されたチームによる組手競技団体戦
6. **競技規定** (公財)全日本空手道連盟空手競技規定で行う。
(1) 男子・女子組手団体戦
ア. トーナメント方式による。(第1回戦での同一地区の対戦は行わない。)
イ. 3位決定戦は行わない。
(2) 大会審判団は、全日本空手道連盟公認審判員により編成される。
7. **チーム編成・出場人員**
(1) 組手団体チーム
ア. 各都道府県より、男子1チーム、女子1チーム参加できる。
イ. チームは、男子は7名、女子は4名まで登録できる。
ウ. 同点の場合の勝者決定代表選手は、当該試合出場者(少年男子及び少年女子を含む。)の中から選ばなければならない。
(2) 監 督
男女別にそれぞれ1名とする。競技進行上、男女両チームの監督を兼任することはできない(個人戦の監督の兼務は可)

8. 出場資格

- (1) 選手及び監督は、(公財)全日本空手道連盟会員であり、「JKF 会員マイページ」に登録していること。マイページが未登録では出場申込 (web 申請) が出来ません。
※高校生は下記 9. (2) イを確認。
- (2) 選手及び監督は、全空連の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。
ア. 日本国籍を有する者
イ. 日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済証明書、又は 3 年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者
- (3) 選手及び監督は、都道府県連盟からそれぞれ選出された者とする。
都道府県連盟 (①～④のいずれかによって所属していること)
① 居住地 ② 勤務地 ③ 学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地
④ 卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地
- (4) 選手は、令和 3 年度内に満 16 歳の誕生日を迎え、全空連公認段位取得者であること。
- (5) 選手は、健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
- (6) 監督は、①全空連公認地区組手審判員以上の審判員資格と、②公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ 3 以上の資格の両方 (①及び②) の有資格者であること。
※選手及び監督の所属を証明する書類 (住民票又は在学・在勤証明書) 並びに選手の健康状態を証明する書類 (健康診断書又は健康診断証明書) については、当該団体会長が確認し、内容に相違ない事を証することとする (全空連に提出不要)。

9. 出場申込手続き

- (1) 個人・団体の監督と選手を併せてWEB 申込を行うこと。
・WEB 申込の操作マニュアル (令和 3 年 3 月に送付済) を参照
・出場費支払い方法: クレジットカード又はコンビニ決済 (個人団体合算)
- (2) 次のア～ウの書類を所定様式にて作成し、原本を提出 (郵送) すること。
ア. 誓約書 (選手のみ。直筆のもの。)
イ. 出場承諾書 (高校生のみ。直筆のもの。)
ウ. 監督登録書
紺ブレザーで作成した証明写真 (縦 4.5×横 3.5cm。カラー写真。白黒は不可。
背景は白。写真の 70～80% が顔で占めること。自然な表情で口は閉じること。
髪は目にかからないようにすること。6 か月以内に撮影。スナップ写真不可。
デジタル加工は一切加えないこと。)を貼付のこと。
**※「JKF 会員マイページ」で公認段位及び取得年月日が確認できない場合は、
段位免状又は全空連段位申請者名簿の写しを添付すること。**

●書類 (ア～ウ) の提出先

【郵送】〒135-8538 東京都江東区辰巳 1-1-20 日本空手道会館
公益財団法人 全日本空手道連盟
「第 49 回全日本空手道選手権大会」係 担当: 田邊

- (3) 申請期限

WEB 申請: 令和 3 年 10 月 22 日 (金)

書 類: 令和 3 年 10 月 22 日 (金) 必着

(4) その他の留意事項

- ア. 規定の資格条件を充たしていないとき、提出書類に不備不足があるとき
又は申込期限に遅れた場合には出場を認めない。
- イ. 出場申込書提出後の選手の変更は、提出期限内であっても一切認めない。
- ウ. 出場申込書提出後やむを得ず選手が試合に出られない事態が生じた場合は、
所定様式「棄権届」に必要事項を記入し、令和3年12月6日(月)必着で郵送
すること。
12月6日(月)以降に棄権が決定した場合は大会当日の監督会議の際に届け出る
こと。

10. 大会出場費

- (1) 大会出場費
団体戦 1チームにつき 10,000円
- (2) 大会出場費の納入について
個人戦、団体戦と合算して、コンビニ決済またはクレジットカード決済で
10月22日(金)までに納入いただきます。
- (3) 納入後の出場料は、出場辞退があった場合でも返金しない。

11. 旅費等の負担について

交通費・宿泊費とも自己負担とする。宿泊先については、各自手配すること。

12. 組合せ抽選日時・場所

- (1) 抽 選 日 令和3年11月5日(金)
- (2) 抽選場所 日本空手道会館 会議室

13. 負傷処置

- (1) 大会期間中の傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
- (2) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者においては応急処置を行なうが、その後は、
自己の負担・責任で治療すること。
- (3) 選手は本大会には必ず健康保険証を携行すること。

14. 審判・監督・選手の服装等

- (1) 審判員 ア. 全空連審判員規定の服装による。
イ. フェイスシールド、マスク、手袋着用
- (2) 監 督
ア. 全空連制定のブレザー、ネクタイ、ズボン、シューズを着用すること。
イ. 監督用IDカードを下げること。
ウ. アリーナ内ではウエストポーチやリュック類は身につけないこと。
エ. 監督は、いかなる場合もコート内に入ることはできない。
オ. マスク、フェイスシールド(持参)着用
- (3) 選 手
ア. 選手の空手衣は、(公財)全日本空手道連盟空手競技規定に定めたものとする。
イ. 青・赤帯は各自全空連検定済(マーク入り)のものを用意すること。
ウ. マスクは競技中以外は常時着用のこと。
エ. 選手用IDカードを下げること。
※マスクは白・無地・不織布

15. 安全具について

(1) 男子組手競技に使用する安全具

- ア. 拳サポーター (WKF 又は全空連検定の赤色・青色のもの)
- イ. メンホー (ミズノ№.6・7)
- ウ. ミズノ製マウスシールド (全空連検定 ミズノマーク入り)
- エ. セーフティカップ
- オ. ボディプロテクター (WKF 又は全空連検定のもの)
- カ. インステップガード・シンガード (WKF 又は全空連検定の赤色・青色のもの)

(2) 女子組手競技に使用する安全具

- ア. 拳サポーター (WKF 又は全空連検定の赤色・青色のもの)
- イ. メンホー (ミズノ№.6・7)
- ウ. ミズノ製マウスシールド (全空連検定 ミズノマーク入り)
- エ. チェストガード
- オ. ボディプロテクター (WKF 又は全空連検定のもの)
- カ. インステップガード・シンガード (WKF 又は全空連検定の赤色・青色のもの)

(3) その他

- ア. 安全具は選手各自が用意すること (本連盟では準備しない)
- イ. マウスピースは使用しない。

16. コロナ対策

後日ご案内いたします。

17. 表彰

(1) 男子及び女子組手競技団体戦

優勝(内閣総理大臣杯)、準優勝、第3位(2チーム)

(2) その他

入賞チームは必ず表彰式に参加すること。(マスク着用)

18. 進行予定

令和3年12月11日(土) 東京武道館 *館内2部入替制で行う

第一部(午前) 女子団体組手競技

第二部(午後) 男子団体組手競技

【第一部 女子団体組手競技】

8時30分～ 開場(監督・選手入館 検温記録提出)

8時50分～ **※監督会議**

9時20分～ 選手集合・開始式・競技開始～表彰式(4チーム:優勝～第3位)

【第二部 男子団体組手競技】

12時00分～ 開場(監督・選手入館 検温記録提出)

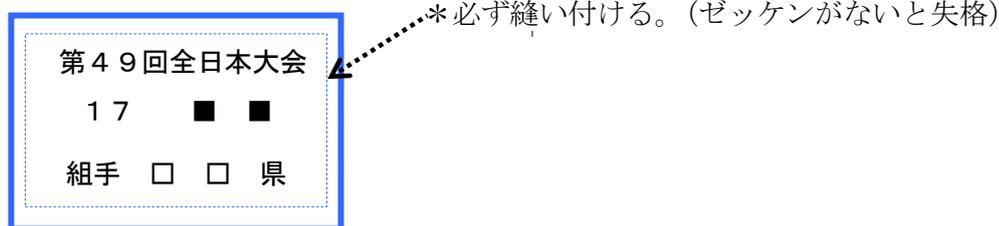
13時00分～ 選手集合・開始式・競技開始～表彰式(4チーム:優勝～第3位)

- ※監督会議は女子団体組手監督のみ参加のこと。
 男子団体組手・個人戦組手の監督会議は行いません。
 各連盟内で情報共有すること。

19. ゼッケンについて

- (1) ゼッケンは大会本部で作成し、12月上旬頃に所属団体に送付する。
 ※大会1週間前に未着の場合は必ず全空連に問い合わせること。
- (2) 所属団体は、ゼッケンの到着後必ずそれぞれの番号、姓名、都道府県名等を確認し、誤記のないことを確認した上で出場選手に速やかに配布すること。
- (3) ゼッケンを正しく付けていない選手は出場することができない。マジックテープ等での仮止めは不可とし、確実に縫い付けて参加すること。また、競技中にとれた場合は次の試合までに必ず再度縫い付けなければ出場できない。

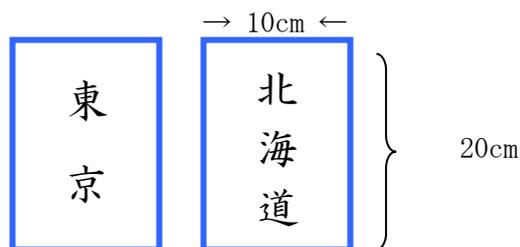
▼ゼッケンは四辺を縫い付けて道衣から外れないようにすること。



20. 胸マークについて

- (1) 選手の胸マークは、各都道府県名を表記した下記規格のものを左胸に固く縫着する。
 所属の会社、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等を表記することは認めない。
- ①サイズは、縦20cm×横10cm以内とする。
- ②文字は、楷書体・黒色・縦書きとする。

[▼例]

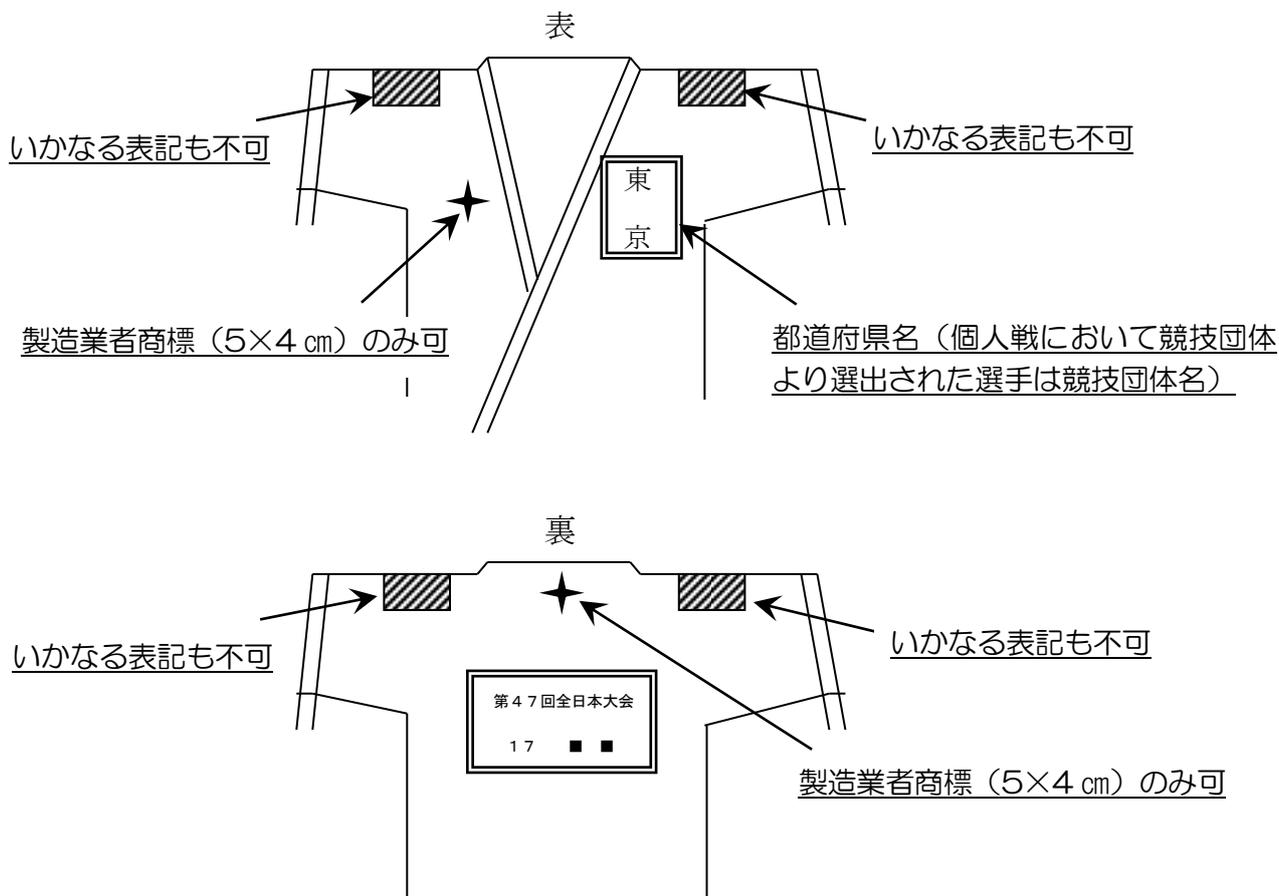


21. 両腕部マークについて

両腕部マークについては、所属の会社、企業名、都道府県名、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等いかなる表記も認めない。

22. 空手着の製造業者商標のラベル表記について

製造業者がはじめから付けたラベルだけは上衣の裾表側、ズボンの表側（左右どちらか）、右胸、襟裏のみ可とし、それ以外のワッペン・刺繍等は一切認めない。※各流派のオリジナルラベルは認める。



23. 肖像権について

本大会は、大会の様相をインターネットのライブ配信を予定している。観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信業者等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報（氏名、所属など）、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。

24. ドーピング検査について

本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本大会参加者は、本大会に出場申込した時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

また、未成年者である本大会出場者の申込においては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。**【18歳未満競技者親権者 同意書 を記載して当日持参すること】**

本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

以上